

初企画！難聴児の保護者向けワークショップ

10年後、20年後の支援者への手紙「サポートブック」作成

福岡市を拠点に活動を行う難聴の子を持つ家族会そらいろ（福岡市、会長：岩尾至和、以下「そらいろ」）と放課後等デイサービス スケッチブックを運営する株式会社D.L.S（福岡市、代表取締役 梶本真佑、以下D.L.S）は、両団体関係者を対象にワークショップ「サポートブックをつくってみましょう」を初開催することとなりましたので、お知らせいたします。

そらいろは「難聴の子どもが、社会でうまくコミュニケーションをとれるように、また、難聴の子どもがいる家族が、不安を取り除いて、安心して温かい家族関係を作れるように」を目的に定例会を中心に活動してまいりました。D.L.Sは子どもたちがスムーズに社会活動を行える“共育”の実現をミッションに掲げて放課後等デイサービスの運営を展開、昨年8月に難聴を持つ子どもたちの未来をテーマとした「ユニバーサル社会フォーラム」をそらいろと共催しています。

初開催となる本企画は、各専門分野の講演者をお招きし難聴児の子育てに必要な内容を様々な視点から学べる内容です。「サポートブック」(※1)とは、配慮が必要な子どもたちが切れ目ない支援を適切に受けられるよう、保護者と関係支援機関で情報共有するためのツール。その啓蒙及び促進活動を先駆けて展開する「ピアはーと（大阪府河内長野市）」(※2)と同市のサポートブック『はーと』(※3)を題材として、福岡県などのサポートブックも書けるようなワークショップに取り組みます。

たくさんの方が大切に関わり続けてきた“途切れない思い”を伝え続けられるサポートブックの作成を通じ、難聴児の子育てをしやすい環境づくりを目指してまいります。

(※1) 各自治体独自に用意されたツールで、どれを使用しても可。福岡県では『ふくおか就学サポートノート』を展開。

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/support.html>

(※2) 同市で障がいを持つ子どもの保護者で組織された『はーと』を拓げる活動展開をするグループ。

<https://www.facebook.com/supportbook.heart/>

(※3) <https://www.city.kawachinagano.lg.jp/soshiki/13/1622.html>

■第1回 保護者向けワークショップ「サポートブックを作ってみましょう」概要

開催日時：2020年2月2日（日）13：00～16：30

場 所：ふくふくプラザ／福岡市市民福祉プラザ 602・603 研修室（福岡市中央区荒戸 3-3-39）

【講演①】13：00～13：45

テーマ：「サポートブックとは？」

講 師：宮崎 充弘氏（大阪府 障がい者相談支援アドバイザー）

【ワークショップ】13：45～15：40

内 容：サポートブック作成

講 師：土本由紀子氏・森田智子氏（ピアはーと スタッフ）

【講演②】15：45～16：30

テーマ：「読解力の指導方法について」

講 師：平島 ユイ子氏（福岡国際医療福祉大学 言語聴覚専攻科教授）

【本件に関するお問い合わせ先】

難聴の子を持つ家族会 そらいろ <https://sorairofukuoka.jimdofree.com/>

担当：岩尾（いわお） e-mail：yukikazu_iw203@blue.plala.or.jp